

# ベトナム時価総額上位 20 銘柄

(2021 年 3 月 31 日時点)

## 国名：ベトナム社会主義共和国

東南アジアのインドシナ半島北部に位置する社会主義共和制国家。ASEAN 加盟国。首都はハノイですが、最大都市はホーチミン市になります。国土は南北に細長く、北は中華人民共和国、西はラオス、南西はカンボジアと国境を接します。

### 【ベトナム基礎知識】

外務省ホームページ引用

#### 《一般事情》

国土面積：32 万 9,241 平方キロメートル(日本の 0.88 倍)

人口：9,762 万人(2020 年時点)

首都：ハノイ(最大都市は、ホーチミン)

民族：キン族(越人)約 86%、他に 53 の少数民族

言語：ベトナム語、ほかに少数民族語

通貨：ベトナムドン(米ドルとのドルペック制)

宗教：仏教(約 80%)、カトリック、カオダイ教、ホアハオ教など

#### 《政治体制・内政》

政治体制：社会主義共和国

元首：グエン・フー・チョン国家主席

政権党：共産党(唯一の合法政党) 党首：グエン・フー・チョン党書記長

国会：一院制(定数 500 名、任期 5 年) 選挙権満 18 歳以上、被選挙権満 21 歳以上

政府：グエン・スアン・フック首相、ファム・ビン・ミン副首相



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。

## 《経済状況》

1989年頃よりドイモイ(刷新)政策の成果が上がり始め、1995年～1996年には9%台の経済成長率を記録。アジア経済危機の影響から一時成長が鈍化したものの、海外直接投資の順調な増加も受けて、2000年～2010年の平均経済成長率は7.26%と高成長を達成。2010年に(低位)中所得国となりました。ベトナムは一層の市場経済化と国際経済への統合を推し進めており、2007年1月、WTOに正式加盟。その後も、各国・地域とのFTA/EPA締結を進めており、TPP交渉にも参加。その一方、未成熟な投資環境、国営企業の非効率性、国内地場産業の未発達等の課題も残っています。

## 《経済》

主要産業：農林水産業(GDPに占める割合14.85%)、鉄工業・建築業(同33.72%)、サービス業(同41.63%)

GDP(2020年,IMF推計値)：約3,406億米ドル(7,972兆ドン)

一人当たりGDP(2020年,IMF推計値)：約3,498米ドル(8,190万ドン)

経済成長率(2020年,年平均,越統計総局)：2.91% ※コロナ感染拡大により一時的鈍化物価上昇率(2020年,年平均,越統計総局)：3.23%

失業率(2020年,越統計総局)：2.26%(都市部：3.61%、農村部：1.59%)

主要貿易品目(2020年,越統計総局)

輸出：繊維・縫製品、携帯電話・同部品、PC・電子機器・同部品、履物、機械設備・同部品等

輸入：機械設備・同部品、PC・電子機器・同部品、繊維・縫製品、鉄鋼、携帯電話・同部品等

貿易相手国(2020年,越統計総局)

輸出：米国、中国、日本、韓国、香港等

輸入：中国、韓国、日本、台湾、タイ等

## 《外交》

全方位外交の展開、特にASEAN、アジア・太平洋諸国等近隣諸国との友好関係の拡大に努めること。対外開放、地域・国際社会への統合の推進。1995年7月、米国と国交正常化、ASEANに加盟。1998年11月、APECに正式参加し、2006年にAPEC議長国を務めた。2008年1月、国連安全保障理事会非常任理事国(任期2008年～2009年)に就任。2010年ASEAN議長国を務めた。2013年11月、国連人権理事会理事国(任期2014～2016年)に選出された。2017年は、APEC議長国を務めました。



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

## 《日越関係》

1978年末のベトナム軍カンボジア侵攻に伴い、1979年度以降の対越経済協力の実施を見合せてきたが、1991年10月のカンボジア和平合意を受け、1992年11月に455億円を限度とする円借款を供与。その後、日越関係は順調に発展してきており、2006年10月、ズン首相の日本公式訪問の際に、両国は「戦略的パートナーシップ」という特別な関係の実現に向けて両国関係を強化するとの強い決意を表明。2009年4月のマイン書記長の公賓訪日の際、日越両国が戦略的な利益を共有し、アジアにおける平和と繁栄のためにもともに協力し合う戦略的パートナーシップを確立したことを内外に明示。現在は、「アジアにおける平和と繁栄のための広範な戦略的パートナーシップ」の下、政治、経済、安全保障、文化・人的交流など幅広い分野で連携しています。1997年の在大阪ベトナム総領事館開設に続き、2009年に在福岡ベトナム総領事館、2010年に在釧路ベトナム名誉領事館と在名古屋ベトナム名誉領事館が開設されました。日本側も2020年には、在ダナン領事事務所を開設しています。

## 【ベトナム株式】

### <ホーチミン証券取引所> 2000年7月20日開設

VN指数は、ホーチミン証券取引所の上場全銘柄からなる時価総額加重平均指数です。2000年7月28日に取引を開始。同日を基準日とし、その日の時価総額を100として指数が算出されています。

総銘柄数：408社

主要株式指数：VN INDEX

時価総額：約20.7兆円(時価総額上位20位までで約14兆円)

### <ハノイ証券取引所> 2005年3月8日開設

ハノイ証券取引所株価指数は、ハノイ証券取引所に上場している銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。

総銘柄数：356社

主要株式指数：HNX INDEX

時価総額：約1.1兆円



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

## 時価総額第1位

### 【ビングループ(不動産)

～ 豊富な土地利用権、キャッシュを背景に多角化】

銘柄名：ビングループ ティッカー：VIC 取引所：ホーチミン

会社内容：最大手の不動産開発業者。住宅不動産(ビンホームズ)、商業不動産(ビンコム、ビンコム・メガモール)、小売(ビンマート、ビンプロ、ビンファッシュョン)、病院・ヘルスケア(ビンメック)、レジャー・リゾート(ビンパール・リゾート、ビンパール・リゾート・プレミアム)、教育(ビンスクール)、農業(ビンエコ)などを運営する。行政機関との繋がりが強く広大な土地利用権を保有、潤沢な現金を所持、強固な財務基盤を持っています。不動産事業以外に自社ブランドのベトナム国産自動車事業(ビンファスト)を展開。小型車・セダン系・SUV車や今年から電気自動車にも参入。

株価：117,900 ドン 時価総額：395 兆 7,443 億ドン(日本円：約 1 兆 8,599 億円)

## 時価総額第2位

### 【ベトコムバンク(銀行) ～ 時価総額ベースでトップバンク】

銘柄名：ベトナム外資銀行 ティッカー：VCB 取引所：ホーチミン

会社内容：元 4 大国有商業銀行のひとつ。企業決済・預金・貸付等の国内銀行業務だけでなく、外貨売買・電子銀行取引等の国際業務も行っています。上場商業銀行のなかで時価総額ベース第1位。みずほ銀行が 15%の資本出資、大垣共立銀行・フィデア HD・日本国際協力銀行(JBIC)等複数の日本金融機関と業務提携をしています。ベトナム中央銀行が求める国際的な資本規制「バーゼル II」適用済み。

株価：94,800 ドン 時価総額：351 兆 6,015 億ドン(日本円：約 1 兆 6,525 億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。

## 時価総額第3位

### 【ビンホームズ(不動産)

#### ～ ビンググループ子会社の不動産開発最大手】

銘柄名：ビンホームズ ティッカー：VHM 取引所：ホーチミン

会社内容：ビンググループが、69.6%の株式を保有。高所得者住宅案件「ビンホームズ」、中低所得者住宅案件「ビンシティ」ブランドを展開、オフィスビル経営。高級コンドミニアム販売市場において約50%のシェアを有する。主にホーチミン市とハノイ市において「ビンホーム」ブランドを開発販売していたが、市場のニーズに合わせて今後は「ビンシティ」ブランドの住宅開発にも力を入れている。ホーチミン市、ハノイ市周辺に今後開発可能な土地を多く確保しており、今後も住宅開発プロジェクト中心に発展期待。

株価：97,300 ドン 時価総額：316兆7,801億ドン(日本円：約1兆4,888億円)

## 時価総額第4位

### 【ビナミルク(乳製品) ～ ベトナムを代表するブルーチップ銘柄】

銘柄名：ビナミルク ティッカー：VNM 取引所：ホーチミン

会社内容：国内最大手の乳製品メーカー。粉ミルク、牛乳、コンデンスド・ミルク、ヨーグルトを取り扱っている。海外進出にも力を入れ、東南アジアだけではなく、世界中に輸出しています。原材料の輸入比率を下げる為に、乳牛生産も行っている。子会社のGTNフーズ(GTN)とベトナム畜産(VLC)を合併させ、畜産・食肉加工分野でも大手を目指す。日本の卸売商社「双日」と牛肉製品の加工・販売を目的に合併会社を設立する予定。

株価：98,400 ドン 時価総額：207兆3,235億ドン(日本円：約9,744億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。

## 時価総額第 5 位

### 【ベトナム投資開発銀行(銀行) ～元 4 大 国 営 商 業 銀 行】

銘柄名：ベトナム投資開発銀行 ティッカー：BID 取引所：ホーチミン  
会社内容：元 4 大 国 営 商 業 銀 行 の ひ と つ 。 戦 略 的 パ ー ト ナ ー と し て 、 韓 国 KEB ハ ナ 銀 行 が 15% の 株 式 を 保 有 。 2017 年 12 月 に 三 井 住 友 信 託 銀 行 は 、 BID の 100% 子 会 社 BID ファイナンスリースに 49% 出資しています。ベトナム中央銀行が求める国際的な資本規制「バーゼルⅡ」適用済み。

株価：42,950 ドン 時価総額：172 兆 3,434 億ドン(日本円：約 8,100 億円)

## 時価総額第 6 位

### 【ペトロベトナム・ガス(ガス)

#### ～ ペトロベトナム・グループの主要子会社のひとつ】

銘柄名：ペトロベトナム・ガス ティッカー：GAS 取引所：ホーチミン  
会社内容：国営ペトロベトナム・グループ(PVN)の主要な子会社のひとつ。石油ガス・天然ガスの輸入・輸出・貯蔵・販売という一貫生産体制で行っています。主要な製品は、液化石油ガス、乾性ガス、圧縮天然ガス、液化天然ガスなど。親会社のペトロベトナムグループが、GAS の持株の 95.7% を保有している為、浮動株は 4% 位しかありません。ペトロベトナムグループが株式の持ち分比率を下げる計画をしていますが、時期は未定。

株価：89,700 ドン 時価総額：171 兆 4,899 億ドン(日本円：約 8,060 億円)

## 時価総額第 7 位

### 【ホアファット・グループ(鉄鋼) ～ 国内上場鉄鋼会社第 1 位】

銘柄名：ホアファット・グループ ティッカー：HPG 取引所：ホーチミン  
会社内容：国営ベトナム鉄鋼総公社(VN スチール)に次ぐ国内第 2 位の鉄鋼会社。上場鉄鋼会社では、第 1 位。手掛けている事業は、鉄鋼、不動産開発、室内装飾品、家庭用電化機器、貿易、畜産等、多岐にわたるが、中核事業として収益の約 80% を占めているのは鉄鋼事業になります。ベトナム国内での建設用鋼材シェアは、約 25% あります。

株価：46,800 ドン 時価総額：153 兆 9,019 億ドン(日本円：約 7,233 億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

## 時価総額第 8 位

### 【ベトインバンク(銀行) ～ 元 4 大 国 営 商 業 銀 行】

銘柄名：ベトナム産業貿易商業銀行 ティッカー：CTG 取引所：ホーチミン  
会社内容：元 4 大 国 営 商 業 銀 行 の ひ と つ 。 三 菱 U F J 銀 行 が 約 19% の 資 本 参 加 。 戦 略 的 パ ー ト ナ ー シ ッ プ を 締 結 し 、 支 援 を 行 っ て い る 。 海 外 に い る ベ ト ナ ム 系 住 民 か ら の 母 国 送 金 事 業 が 拡 大 し て お り 、 米 国 や 欧 州 に 子 会 社 を 設 立 し 、 海 外 拠 点 も 増 や し て い る 。 ベ ト ナ ム 中 央 銀 行 が 求 め る 国 際 的 な 資 本 規 制 「バ ー ゼ ル II」 適 用 済 み 。

株価：40,150 ドン 時価総額：150 兆 4,255 億ドン(日本円：約 7,070 億円)

## 時価総額第 9 位

### 【テクコムバンク(銀行) ～ マッサン・グループが大株主の民間銀行】

銘柄名：テクコムバンク ティッカー：TCB 取引所：ホーチミン  
会社内容：個人・法人・政府機関向けにベトナムで事業を展開している大手民間商業銀行のひとつ。貯蓄・預金・ローン・クレジットカード・金融資産管理・貿易金融・国際決済・および外国為替サービス業務を行っています。マッサン・グループが大株主であり、グループ傘下の銀行です。ベトナム中央銀行が求める国際的な資本規制「バーゼルII」適用済み。現時点では、海外戦略パートナー向けに保有株を残している為、一般投資家への外国人株を開けていません。

株価：40,400 ドン 時価総額：140 兆 3,714 億ドン(日本円：約 6,597 億円)

## 時価総額第 10 位

### 【ベトナムゴム工業グループ(素材)

#### ～ 国内最大手の天然ゴム栽培・加工会社】

銘柄名：ベトナムゴム工業グループ ティッカー：TCB 取引所：ホーチミン  
会社内容：ベトナム国内で広大なゴム農園を保有。天然ゴム栽培・加工やゴム製品など製造し、ベトナム以外に国外約 40 ケ国に輸出を行っている。その他、工業団地開発事業も手掛けています。

株価：27,800 ドン 時価総額：112 兆 8,000 億ドン(日本円：約 5,301 億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

## 時価総額第 11 位

### 【サイゴンビール・アルコール総公社(飲料)

～ 国内最大手のビールメーカー】

銘柄名：サイゴンビール(サベコ) ティッカー：SAB 取引所：ホーチミン  
会社内容：国内ビールシェア約 4 割超を保有する国内最大手ビール等の酒類メーカー。  
缶ビール・瓶ビールを扱っている。主な銘柄ブランドは、「333(バーバー  
バー)」「サイゴンスペシャル」。ビール飲料の生産・販売以外に運輸倉庫  
の賃貸や不動産経営もしています。ビール販売は、国内だけではなく、世  
界の国や地域に輸出し販路を広げている。タイビバレッジ子会社のベトナム  
ビバレッジが約 53%の株式を保有しています。

株価：180,000 ドン 時価総額：112 兆 2,242 億ドン(日本円：約 5,274 億円)

## 時価総額第 12 位

### 【VP バンク(銀行) ～ ベトナム非国営企業銀行】

銘柄名：ベトナム繁栄商業銀行 ティッカー：VPB 取引所：ホーチミン  
会社内容：国内外の銀行業務以外に世界 60 カ所の国と地域の銀行代理業務も行っ  
ています。子会社に業界最大手の消費者ローンを傘下に持ち、当行の業績に  
大きく貢献しています。ベトナム中央銀行が求める国際的な資本規制「バ  
ーゼルⅡ」適用済み。現時点では、海外戦略パートナー向けに保有枠を残  
している為、一般投資家への外国人枠を開けていません。

株価：44,650 ドン 時価総額：110 兆 3,409 億ドン(日本円：約 5,186 億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。



## 時価総額第 13 位

### 【マサン・グループ(食品)】

～加工食品・飲料、鉱産、畜産・飼料、小売りの 4 つの事業が柱】

銘柄名：マサン・グループ ティッカー：MSN 取引所：ホーチミン

会社内容：マサン・グループは、加工食品・飲料事業を行っているマサン消費財ホールディングス、鉱産事業を行っているマサンホライズン、畜産・資料事業を行っているマサンミート、2019 年末にビングループの小売部門「ビンマート」を買収した小売り事業があります。加工食品事業は、醤油や魚醤(ヌクナム)、即席麺、コーヒー等。飲料事業は、ビールやミネラルウォーターの製造販売を手掛けています。国内最大規模の小売りチェーンを誇るビンマートを土台とし、将来的に豚肉市場でのシェア拡大を狙っている。この他、商業銀行のテクコムバンク(ベトナム技術商業銀行)株式を約 15% 保有し、大口株主となっています。

株価：92,500 ドン 時価総額：103 兆 9,594 億ドン(日本円：約 4,886 億円)

## 時価総額第 14 位

### 【ノブランド不動産投資グループ(不動産)】

～ ホーチミン市を中心に高級住宅開発・販売不動産会社】

銘柄名：ノブランド不動産投資グループ ティッカー：NVL 取引所：ホーチミン

会社内容：ホーチミン市に本拠地を置き、高級マンションに特化し、不動産開発・販売を手掛けています。ホーチミン市以外にも開発販売を広げる予定。急成長している不動産会社です。

株価：80,500 ドン 時価総額：79 兆 9,760 億ドン(日本円：約 3,758 億円)



ニューズ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。

## 時価総額第 15 位

### 【軍隊商業銀行(銀行) ～ ベトナム国軍が管理する商業銀行】

銘柄名：軍隊商業銀行 ティッカー：MBB 取引所：ホーチミン

会社内容：元国営 4 大商業銀行の次グループで上位に位置する商業銀行。親会社はベトナム軍であり、主要な顧客も国軍関係の企業が多い。海外戦略パートナーは、未選定。利益率の比較的高いリテールバンキング事業に注力する戦略を取って業績が伸びている。海外戦略パートナー向けに保有枠を残している為、外国人保有枠の上限を 20% に設定。軍隊商業銀行への海外資本の出資はまだありませんが、子会社の消費者融資事業を展開する MB ファイナンスへ新生銀行が 49% の出資。ベトナム中央銀行が求める国際的な資本規制「バーゼル II」適用済み。

株価：28,150 ドン 時価総額：79 兆 2,048 億ドン(日本円：約 3,722 億円)

## 時価総額第 16 位

### 【ビンコムリテール(不動産)

### ～ ビンググループ傘下の商業不動産デベロッパー】

銘柄名：ビンコムリテール ティッカー：VRE 取引所：ホーチミン

会社内容：ベトナム最大級のショッピングセンター、小売施設デベロッパー。ビンググループは、18.4%の株式保有。2012年に設立され、所得水準の高いホーチミン・ハノイの両都市において約 60%のシェアを保有。シェア第 2 位イオンの 14%を大きく引き離しています。賃貸収入の売上が、約 7 割占めています。今後は、地方都市にも事業展開を図っていく予定。

株価：32,700 ドン 時価総額：74 兆 775 億ドン(日本円：約 3,481 億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。

## 時価総額第 17 位

### 【アジア・コマーシャル銀行(銀行)

#### ～ リテール営業に強みを持つ大手民間銀行】

銘柄名：アジア・コマーシャル銀行   コード：ACB   取引所：ホーチミン  
会社内容：リテール営業に強み。ホーチミン市を中心にベトナム南部に支店が多い。  
2020年12月にハノイ証券取引所からホーチミン証券取引所に鞍替え上場。  
ベトナム中央銀行が求める国際的な資本規制「バーゼルⅡ」適用済み。現時点では、一般投資家への外国人枠が上限に達しています。

株価：33,300 ドン   時価総額：71 兆 9,798 億ドン(日本円：約 3,383 億円)

## 時価総額第 18 位

### 【ペトロリメックス総公社(石油) ～ 国内最大手の石油ディーラー】

銘柄名：ペトロリメックス総公社   ティッカー：PLX   取引所：ホーチミン  
会社内容：石油各社の中で国内最大の 49% のシェアを握っています。同社は、1956 年に設立され、国内でガソリンスタンドを 5,000 カ所以上運営。住宅地に近い好立地にガソリンスタンドを保有。ガソリン・石油の輸出入、販売事業、石油化学品事業、その他に石油関連機器の設計・建設、銀行・保険業も行っています。

株価：55,100 ドン   時価総額：69 兆 316 億ドン(日本円：約 3,244 億円)

## 時価総額第 19 位

### 【ベトジェットエア(空輸) ～ ベトナム最大手 LCC 航空会社】

銘柄名：ベトジェットエア   ティッカー：VJC   取引所：ホーチミン  
会社内容：ベトナム国内最大格安航空会社(LCC)で、国営ベトナム航空に次ぐ業界第 2 位。2017 年度国内線シェアは 43% に拡大し、ベトナム航空を抜いて第 1 位の座を獲得しました。現在も国内シェアトップを維持。国際線の路線数を増やしており、主な海外渡航先はシンガポール・タイ・韓国・中国・台湾など。日本にも直行便があります。

株価：129,700 ドン   時価総額：68 兆 9,371 億ドン(日本円：約 3,240 億円)



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

## 時価総額第 20 位

### 【FPT コーポレーション(情報通信)

～ 上場以来、増益が続いている高収益企業】

銘柄名：FPT コーポレーション ティッカー：FPT 取引所：ホーチミン  
会社内容：情報通信、システム・インテグレーション、ソフトウェア開発、デジタル機器、携帯電話の小売、教育の各事業を手掛ける ICT 企業。上場以来、毎年増益決算が続いている高成長企業。現時点では、一般投資家への外国人枠が上限に達しています。

株価：77,700 ドン 時価総額：60 兆 4,390 億ドン(日本円：約 2,840 億円)



#### 《ご注意》

- ベトナム基礎知識は、外務省ホームページから引用しています。
- 株価等の数字は、ブルームバーグから引用しています。株価は、1 ページ目の日付終値になっています。
- 時価総額の日本円計算為替レートは、1,000 ドンあたり 4.7 円で計算しています。
- ベトナム政府は、2015 年時点で外国人保有枠比率の緩和を企業ごとに委ねることを決定しました。銘柄によっては、現時点外国人保有枠が上限に達している為買付出来ませんが、外国人投資家が売却をすることで将来保有枠の空きが出来た場合、企業ごとの外国人保有枠比率の緩和決定によってお買付出来る可能性があります。



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

最終ページに重要な注意事項を記載していますので、ご参照ください。

## 【投資家の皆様へ】

- 本資料は、ベトナム株式投資における情報提供を目的としたものです。勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている情報及び意見等は、当社が正確かつ信用に足ると判断した情報に基づき編集、作成されておりますが、その正確性、確実性、実現性については保証するものではありません。その後の状況変化によって予告なく変更されます。
- 投資に関する最終決定は、外国投資のリスク、および当社取引ルールを十分にご理解いただきご自身でご判断ください。
- ご投資の前に契約締結前交付書面をよくお読みください。
- また、以下の「ベトナム株式投資の主なリスクと留意点」について、及び「ベトナム株式手数料について」をよくお読みください。
- ご不明な点等につきましては、弊社担当者にお尋ねください。

## 【ベトナム株式投資の主なリスクと留意点】

- 株価変動リスク  
ベトナム景気や政治・経済・社会情勢の変化、上場企業の業績等、ベトナム株式市場の需給等の要因による株価変動によって、損失が生じるおそれがあります。
- 為替変動リスク  
ベトナム株式投資は、現地通貨(ベトナムドン)でのご投資になります。外国為替相場の変動により、日本円計算で損失が生じるおそれがあります。
- 流動性リスク  
ベトナム市場動向等により、売買需要が極端に少なくなる場合があります。売買高が減少することによって、当該株式が実勢価格で売買されにくく、不利な価格での売買になる可能性があります。
- カントリーリスク  
ベトナムの政治・経済・社会情勢等による影響で、株式市場に影響を及ぼす可能性があります。

## 【ベトナム株式手数料等について】

株式手数料(消費税込)：約定代金(ベトナムドン)×2.20% 最低手数料 80 万ドン

※基本取扱手数料率は、約定代金に関わらず一律となります。

※ベトナム株式口座管理料は、いただいておりません。

※外国証券の売買にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号  
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会